

案件名	株式会社ヨークベニマル向けユニフォーム（一部）販売におけるカーボン・オフセット実施 <表地 YB240 使用白衣（男子用・女子用）及び同使用エプロン>
申請者	サンリッチモード株式会社
認証区分・タイミング	I-1 商品使用・サービス利用 事後確認
クレジット種別	京都クレジット（種類：CER）
クレジット量	19t
案件の概要	企業（ヨークベニマル）向けユニフォームを製造・輸送する際に排出するCO2 排出量をカーボン・オフセットする。 ユニフォーム原材料製造、原材料輸送、ユニフォーム製造、ユニフォーム輸送の各段階でのCO2 排出量を算出し、オフセットを実施する。 （株式会社ヨークベニマル：本社：福島県郡山市、セブン&アイ・ホールディング傘下の食品スーパーストア）
情報公開	<p>【カーボン・オフセットに関する説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボン・オフセットとは、市民、企業 NPO/NGO、自治体、政府が、自らの温室効果ガス（GHG）の排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部または一部を埋め合わせることをいいます。 ・弊社は自らの温室効果ガス（GHG）の排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うことを第一の目標とし、実行しております。 ・お客様である企業（ヨークベニマル）の「地球環境問題への取り組み姿勢」に協力し、またご要望にお応えすべく、ユニフォームにおいてカーボン・オフセットを実施します。 <p>【オフセットの主体（帰属先）】</p> サンリッチモード株式会社が、カーボン・オフセットを行います。 <p>【オフセットの対象】</p> 企業（ヨークベニマル）向けに販売するユニフォーム（一部）を製造・輸送する際に排出するCO2 排出量。その内、把握できた排出量全てをオフセット対象とする。 商品及び数量：白衣（男子用・女子用）4,000 点、エプロン 8,500 点 合計 12,500 点（予定） 期間は、2009 年 10 月 1 日～2010 年 9 月 30 日まで。 <p>【算定量・算定方法】</p>

19 t (予定)

日本・・・「カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン (ver1.0) 2008 年 10 月 6 日 カーボン・オフセットフォーラム (J-COF)」、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(ver. 2.4) 平成 21 年 3 月環境省・経済産業省」、「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」 中国・・・電気：「中国政府 2009 年 9 月発表値」、軽油・重油排出係数：「IPCC ガイドライン 2006」の算定方法を参照にして算定した。

【クレジットタイプの説明】

京都クレジット (CER)

【クレジットの無効化方法】

償却口座移転 (2009 年 10 月～2010 年 9 月予定)

白衣 (4,000 点 国内排出分) →6,280kg

エプロン (8,500 点 国内排出分) →5,525kg

合計 11,805kg ⇒12t

取消口座移転 (2009 年 10 月～2010 年 9 月予定)

白衣 (4,000 点 海上及び中国排出分) →2,260kg

エプロン (8,500 点 海上及び中国排出分) →4,590kg

合計 6,850kg ⇒7t

クレジット無効化合計 19t

【プロジェクト情報】

プロジェクト名：インドネシア インドセメント代替燃料プロジェクト
セメント生産におけるクリンカ燃焼工程において、代替燃料の使用により CO2 を削減する。主に石炭の一部を代替する燃料としての籾殻、のこくず等バイオマスや他の燃料を用いる。

プロジェクト期間：2004 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日

(7 年間のクレジット期間を 2 回更新する計画)

プロジェクトの排出量削減量：144,413t-CO2/年

(平均、UNFCC HP 上の数値)

期間削減総量予測 2,469,337t-CO2

【販売価格・その他支払に関する事項】

カーボン・オフセット費用は、サンリッチモード株式会社が負担いたします。